＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
水道料金の軽減（基本料金の減免）

1 事業概要

【目的】
物価高騰の影響を受けている市民及び事業者の経済的な負担を軽減します。

【内容】
水道料金の基本料金全額を４か月分減免します。
（２か月ごとに検針、検針翌月に請求）
対象期間：令和８年６月検針分～令和８年９月分

【影響】
本市水道事業から給水を受けているすべての給水契約者（個人・事業所等）
（件数）約９０，０００件　　（減免額）５０８，７１３千円

【効果】
口径１３㎜を御利用の方は、４か月分で５，２８０円の減額となります。
口径２０㎜を御利用の方は、４か月分で５，５４４円の減額となります。

2 特徴やPRポイント

・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道料金の減免を行います。
・申請等の手続きの必要はありません。

3 その他

各口径の減免額（４か月分）

口径／金額	13mm	20m	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100～150mm
基本料金（月額）	1,320	1,386	1,452	2,244	3,960	9,900	15,840	26,400
減免総額（4か月分）	5,280	5,544	5,808	8,976	15,840	39,600	63,360	105,600

※下水道使用料、農業集落排水施設使用料は対象ではありません。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　上下水道部経営課　　担当　岩見
連絡先　TEL　048－520－4133（直通）　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「くまキッズ」４月オープン！　（子育て支援･保健拠点施設管理運営経費）

１ 事業概要

【目的】
　妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援や保健活動の更なる充実・強化のため、子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」の管理運営を行います。
【内容】
　児童館と児童クラブを併設したこども館、４か所の既存保育所を統合した１５０人単位の中央保育所、乳幼児の相談や成人を対象とした健康相談や保健指導を行う保健センター、休日と夜間の初期診療を行う休日・夜間急患診療所の４棟５施設を1つに集約した複合施設を運営します。

２ 特徴やPRポイント

・こども館、保健センター、中央保育所、休日・夜間急患診療所を併設し、子育て支援と保健機能を集約した県内最大規模の施設です。

・こども館の１階には雨の日でも思い切り身体を動かせる室内遊具を配置したプレイルームや軽体育室があります。プレイルームを見渡せる位置に、妊娠・出産・育児などあらゆる悩みや心配事が気軽に相談できる「くまっこルーム」等の子育て相談機能を配置しており、こどもの遊ぶ様子を見守りながら、子育て中の親子の交流や育児相談が可能です。
　また２階には、主に中高生向けの「こどもの居場所」として、中高生向けの書籍の設置や雑談ができるスペースや、音楽スタジオや自習室等があります。
　軽体育室など一部の施設は、夜間に一般利用の貸出も行います。児童は無料で利用可能です。

・こども館と隣接する保健センターには保健師や家庭児童相談員が常駐し、母子保健に関する相談、栄養指導、離乳食教室やママパパ教室などを実施します。成人保健に関する指導も一緒に行い、家族全員の健康増進をサポートします。

・市が運営する保健センターと事業者が運営するこども館が連携し、地域と結びついた様々な子育て支援サービスを展開します。

・中央保育所の内装は木質化を図り、国産材を使用し木の温もりを活かしたデザインとしています。また、熊谷駅から保育所まで送迎保育ステーションによるバスでの送迎を利用することもできます。

・旧蚕業試験場の頃からある既存樹木を最大限に活用した自然と共生する施設であり、屋外広場には木製遊具や健康遊具、ウォーキングコース等を整備し、こどもだけでなく多世代の方にご利用いただけます。

３ その他

　令和８年３月の１か月を開業準備期間とし、３月２０日に施設の完成式典を行います。３月２７～２８日をプレオープン期間とし、４月１日に開館します。４月１～７日をオープニングウイークとして子育て世代が楽しめる様々なイベントを開催します。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　福祉部こども課　　担当　原口･新島
連絡先　℡048-577-8480　　内線　552

熊谷市子育て支援・保健拠点施設【全景】



熊谷市立こども館・熊谷市立石原児童クラブ



熊谷市休日・夜間急患診療所



熊谷市立中央保育所



熊谷市保健センター



＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
母子保健事業（1か月児健康診査）

1 事業概要

【目的】
１か月児健康診査の実施により、疾病及び異常を早期に発見し、適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、養育環境を評価し、保護者への育児に関する助言を行い、もって乳児の健康保持及び増進を図ります。

【実施開始日】
令和８年１０月１日

【内容・経緯】
⑴　実施方法
①個別健診として、１か月児健康診査を実施する医療機関と契約して実施
②契約外の医療機関にて実施した場合は償還払いにて対応
⑵　健診項目
①身体発育状況
②栄養状態
③疾病及び異常の有無
④新生児聴覚検査、先天性代謝異常検査の実施状況の確認
⑤ビタミンK2投与状況の確認
⑥育児上問題となる事項

【効果】
乳児の健康・発育状態を評価し、重篤な身体疾患の早期発見に繋げる育児相談支援（支援者との出会いの場）のきっかけづくりとします。
医療機関との連携を図り、伴走型相談支援につなげることで、安心して子育てが出来る環境を提供します。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
１か月児健康診査を委託事業として実施することで、他の乳幼児健康診査（乳児、１歳６か月児、３歳児、５歳児）とともに切れ目のない健康診査体制を整備します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部母子健康センター　　担当　吉野
連絡先　℡　048-525-2722

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校給食費無償化事業

1 事業概要

【目的】
小学校の給食費を無償化することで、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

【内容】
国が学校給食費の抜本的負担軽減（いわゆる給食無償化）のため、「給食費負担軽減交付金」を創設して小学校の給食費を支援することとなりました。これを活用して令和８年度より小学校の給食費を無償化します。

【効果】
小学校での給食費を納付いただく必要がなくなり、保護者の経済的負担が軽減されます。また、未納者への対応など教職員の負担も軽減されます。

2 特徴やPRポイント

熊谷市立小学校の給食費を無償化することで、子育て世帯の負担軽減に寄与します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　　担当　高橋
連絡先　℡　048-524-1122　　内線　392

＜速報＞
令和7年度3月補正予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
物価高対応中学校給食費支援事業

1 事業概要

【目的】
物価高騰が続く中、子供たちに栄養バランスのとれた給食を提供するのに必要な食材費を確保するため、令和５年度及び６年度に２年連続で給食費を改定しました。しかし、子育て世帯の経済的負担が増すことから、これを軽減するために本事業を実施します。

【内容】
令和６年度に１５％程度の値上げ改定を行いましたが、その値上げ分を公費で負担し、保護者負担額を据え置くものです。小学校は小学校給食費無償化事業を実施するため、本事業は中学校を対象とします。
国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するため、令和７年度３月補正予算に計上し、令和８年度に繰り越して実施します。

【効果】
子育て世帯の経済的負担を軽減しながらも、適正な食材費を確保することで子供たちに理想的な学校給食を提供します。

【経緯】
令和６年度及び７年度に「学校給食費負担軽減支援事業」として小・中学校を対象に同内容の支援を行っていますが、国が学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）のために「給食費負担軽減交付金」を創設して小学校給食費の支援を実施することとなったことから、これと区別するために事業名を変更して中学校を対象に実施するものです。

2 特徴やPRポイント

適正な食材費を確保することで、地場産食材をより多く使用し地元の生産者等の支援にもつながります。

3 その他

・令和７年度３月補正予算額　37,782千円

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　　担当　高橋
連絡先　TEL　048-524-1122　　内線　392

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和7年度3月補正予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校･中学校体育館空調設備整備事業

１ 事業概要

【目的】
児童・生徒の教育環境の充実と災害時の避難所環境の改善を目的とします。

【内容】
子供たちの学習・生活の場であり、災害時には避難所として活用される学校体育館について、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る観点から市内の小中学校体育館への空調設備設置を順次進めます。令和８年度は、熊谷西小、吉岡小、三尻小、籠原小、成田星宮小、妻沼西小、熊谷東中、大麻生中、妻沼東中、江南中の１０校の実施設計を行います。
また、今年度設計を進めている石原小、久下小、奈良小、妻沼小、江南北小、中条中、別府中、大里中の８校の空調設備設置工事及び長井小の断熱工事については、国から「令和７年度空調設備整備臨時特例交付金」の追加交付決定を受けたことから、令和７年度３月補正予算に前倒しして計上し、令和８年度に繰り越して実施します。

【影響・効果】
子供たちの健康を守るとともに、より快適な学校生活を送ることができ、体育館は避難所にもなっていることから、災害時には季節を問わず避難所生活を送ることができます。

２ 特徴やPRポイント

「空調設備整備臨時特例交付金」を活用し、断熱性の確保工事を同時に行い、防災拠点としての機能強化を図ります。

３ その他

・令和８年度当初予算額　　70,000千円
・令和７年度３月補正予算額　1,175,000千円

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　　担当　柳澤、角張
連絡先　TEL　048-524-1111　　内線　371

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

1 事業概要

【目的】
市民サービスと利便性の向上、産業振興や交流の活性化を図るため、県と共同で整備を進める北部地域振興交流拠点・市庁舎の整備を進めます。

【内容】
北部地域振興交流拠点・市庁舎の整備に向け、要求水準書案や実施方針等の作成・公表を行うに当たり、共同事業者である埼玉県と共に専門的な知識・経験を有する事業者からの助言を受けるため、アドバイザリー業務委託（令和８～９年度の２か年契約）を実施します。
併せて、新庁舎への移転に向け、オフィスの実証実験や行政文書の電子化等を推進します。

【影響】
専門的知識・経験を有する事業者から助言を受けながら要求水準書案等を作成することで、以降の設計等へ円滑につなげることができます。

【効果】
専門的知識・経験を有する事業者の助言を反映することにより、より実行性が高く、網羅的な要求水準書案等の作成が期待されます。
また、新庁舎への移転に向け、オフィスの実証実験や行政文書の電子化等を推進することで、移転準備を計画的かつ着実に進めることができます。

2 特徴やPRポイント

県との共同事業であり、県と連携しながら事業を進めます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部北部拠点整備推進室　　担当　浅見、松岡、蟻川
連絡先　℡048-524-1111　　内線　528

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。「生涯」にわたってあらゆる分野の「活動」を行える施設を目指します。

【内容】
令和９年１０月の供用開始に向け、令和８年度は引き続き建設工事を実施します。また、什器備品の選定を進めます。

【経緯】
令和４年度に基本構想・基本計画を策定し、令和５年度は基本設計、令和６年度には実施設計を実施、令和７年度には整備予定地の既存施設の解体工事及び新施設の建設工事を開始しました。

【効果】
多様な利用者が訪れることを想定し、安心して利用できる施設を整備します。

2 特徴やPRポイント

（仮称）第２中央生涯活動センターは２階建ての計画です。１階には生涯活動支援スペースを設け、地域活動や市民活動に自由に活用していただきます。その周りに比較的小規模の活動室を１１部屋配置します。２階には約２００名が入れるオープンサイドルームのほか、体を動かす活動による交流ができる多目的室やアクティブフィールド、防音設備のある音楽ルームを配置します。

■建設予定地：熊谷市石原１４０７―１ほか
■延床面積：３０４６．２３㎡

3 その他

ZEB Ready認証を取得しました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　330

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）新熊谷衛生センター整備事業

1 事業概要

【目的】
ごみの安定処理のため、老朽化した熊谷衛生センター及び江南清掃センターを統合し、新しいごみ焼却施設を建設します。
【（仮称）新熊谷衛生センターの概要】
建設候補地：現熊谷衛生センター敷地及び別府農村広場
処理能力：198t/日
供用開始：令和14年4月
処理方式：全連続焼却式ストーカ炉×2基
その他設備：発電設備、余熱供給設備
【令和8年度の事業内容】
業務委託名：（仮称）新熊谷衛生センター事業者選定業務委託
業務委託期間：令和7年度から令和9年度
内容：要求水準書の作成など、入札公告に向けて準備します。
【今後のスケジュール】
令和9年 2月：入札公告
令和9年12月：本契約締結
令和9年度末から令和13年度：実施設計、建設工事
令和14年4月：共用開始

2 特徴やPRポイント

・周辺環境と調和のとれた施設を目指します。
・エネルギー回収型の廃棄物処理施設として、発電、余熱供給を行います。
・設計、建設及び管理運営を一体的に民間事業者に委託するDBO方式を採用し、ライフサイクルコストを抑えた施設を目指します。
・住民説明会等を通じて積極的に情報を共有し、市民の皆様の御理解、御協力を得ながら進めていきます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境推進課　　担当　金子・渡邊
連絡先　TEL 048-536-1549（直通）　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）アクアピア2整備事業

1 事業概要

【目的】
市民の健康増進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、施設の老朽化により維持管理が困難となっている小・中学校のプールの代替機能としても活用することができる水浴施設「（仮称）アクアピア２」を新たに整備します。
ごみ焼却施設の余熱利用・発電施設を利用するため、新たに整備を予定するごみ焼却施設と併せて実施します。
整備予定地については、別府沼公園を含めて検討していきます。

【内容】
施設の適切な位置や機能等を検討し、令和８年度に基本構想・基本計画を策定します。

【影響】
新たなごみ焼却施設と併設して整備することにより、焼却時に発生するエネルギーを利用して、プールの水を温めたり、施設の冷暖房などの電気、ガスといった外部からのエネルギー購入費用を削減でき、環境負荷への軽減を図ることができます。

2 特徴やPRポイント

・地域住民をはじめとした市民の方に、健康増進やレジャーの場を天候や季節に左右されることなく提供することができます。
・エネルギーの循環型施設として、地球温暖化対策を推進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部公園緑地課　　担当　白根・増田
連絡先　℡　0493-39-4806　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
南部消防庁舎整備事業

1 事業概要

【目的】
　消防体制の充実を図り、消防力を強化するため、施設の老朽化した江南分署及び大里分署を統合して新たに南部地区に消防庁舎を整備します。また、近隣の消防団車庫も同一敷地内に集約します。

【内容】
　江南分署及び大里分署は昭和４８年に旧耐震基準で建築され５０年以上経過し老朽化が進んでいます。また、現在の場所は、新たな施設、訓練環境の整備を考慮すると建替えをするには狭あいな環境です。そこで、新たに用地を取得し消防庁舎を整備するため基本計画を策定します。

【効果】
・消防体制の充実により災害対応能力が向上します。
・地域住民の安全・安心な暮らしの確保が図れます。
・新たな消防庁舎の整備により地域防災意識が向上します。

2 特徴やPRポイント

　実践的な訓練が日常的に行える施設、また、女性消防吏員の勤務環境に配慮した施設を目指し、消防力の強化を図れる機能等について検討を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　消防本部消防総務課　　担当　竹井
連絡先　℡048-501-0119　　内線　494

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スマートシティ推進事業

1 事業概要

【目的】
デジタルと人の力により地域の快適性と持続性を確保するため、スマートシティの取組を推し進め、市民参加とデータ活用による先進的なまちづくりの実現を図ります。

【主な内容】
①【データ連携の推進、拡充】データ連携基盤の維持管理をはじめ、令和８年１月にスタートしたＡＩオンデマンド交通サービスと連携させ、他のスマートシティ関連サービスの利用データとの連携・分析を可能とする構築を行います。さらに、市内各所に観測機を再配置する予定の気象観測サービス「POTEKA」から得られる様々な気象データを活用可能にする構築を行い、「クマぶら」から配信できる機能を実装します。

②【クールシティ産業創出】最新技術を用いたサービスの社会実装を目指すスタートアップ企業等が市内で活躍できる環境を目指し、気象データを活用した暑熱対策の研究に取り組む大学や企業のほか、循環型社会などに取り組む「気候テック」企業向けに、市内で実証実験が行えるフィールドと支援体制を引き続き提供します。

③【ロボット産業誘致】熊谷スマートシティにおいて、ロボットやドローンが活躍する未来を目指して、中央公園を主なフィールドに、ロボット関連企業との実証準備を実施します。また、市役所本庁舎及び中央公園の３Ｄモデルをアセット化し公開することで、ロボット関連の実証実験促進等につなげていくなど、「ロボット実証サポート都市」を目指した基盤作りを行います。

④【データ活用まちづくり・人材育成支援】データ活用によるまちづくりを促進するため、データの可視化や分析を通じて、サービスの利用促進や改善、地域課題の解決に向けた施策の立案に活用する「データドリブン経営」を推進します。また、児童・生徒や若者を含む様々な世代に対する、シーンスケッチコンテストやイベント、ワークショップ等を実施を通じて、熊谷スマートシティ政策に対する愛着や貢献の意識向上、さらには若者の創造性の醸成を図ります。

【効果】
・ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション） による市民生活の利便性向上
・様々なデータの取得及び連携による、さらなるデータ利活用の推進
・ロボットや気候テック企業等の多様な関係者との連携構築による、新産業創出に向けた基盤構築
・若者を含む様々な世代との連携強化と、参画意識の向上

2 特徴やPRポイント

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市長公室政策調査課　　担当　市原・小田嶋
連絡先　048-524-1111　　内線　316・368

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
保育業務電子化事業

1 事業概要

【目的】
保育所等の入所申請について、オンライン申請を導入し、子育て世帯に向けた行政サービスの向上を図ります。
【内容】
「いつでも」「どこでも」保育所等の入所申請が可能となるオンライン申請を導入します。
【対象者】
子どもの保育所等への入所を希望されるご家庭
【開始時期】
令和８年度中
【効果】
オンライン申請の導入により申請書類を提出するための来庁が不要となります。
また、時間や場所を選ばない入所申請が可能となります。

2 特徴やPRポイント

◎ い　　つ：仕事終わり等の帰宅後や家事の合間の隙間時間に入所申請
◎ ど こ で：市役所窓口に来庁することなく、自宅のリビングや外出先で入所申請
◎ 誰　　が：共働き等、様々な理由で窓口に行く時間が取れないご家庭も休暇を取得することなく、土日祝日等の休みに入所申請
◎ どのように：お持ちのスマートフォンでマイナポータルの電子申請画面にアクセス。マイナンバーカードをかざして、基本情報を呼び出した後、申請画面が表示され入力開始

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　福祉部保育課　　担当　山下
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　431

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スマート農業推進支援事業

１ 事業概要

【目的】
　スマート農業技術導入を加速させ、より生産性の高い食料供給体制を確立するとともに、農業の持続的な発展を図ることを目的とします。

【内容】
　認定農業者・認定新規就農者が導入するスマート農業機械に係る経費の一部を補助します。補助率は3/10以内、限度額６０万円です。

【効果】
　先進的技術の導入により、生産性向上、作業の効率化・軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】
　６，０００千円

【補助条件等】
・購入する農業機械について国、県及び市の補助を受けていないこと。
・市税に滞納がないこと。
・令和８年度に購入する、「スマート農業技術カタログ（農林水産省）」に掲載された機械であること。

２ 特徴やPRポイント

【特徴】
　スマート農業機械については、従来の機械より高価であるため、高額な導入費用を伴うことから、費用の一部を補助することで、認定農業者・認定新規就農者を支援します。

【ＰＲポイント】
　令和７年度に新規事業として始まり、令和７年度から令和９年度の３年間の予定で実施する市単独補助事業です。

３ その他

申請書類、受付期間等は、認定農業者・認定新規就農者へ直接お知らせするほか、市ホームページやくまがや農委だより等でもお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　田口
連絡先　048-588-9987（直通）　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
都市空間情報デジタル基盤構築事業

1 事業概要

【目的】
　ＷｅｂＧＩＳプラットフォーム上に官民で利用可能となるよう整備・更新してきた３Ｄ都市モデルを活用し、市民共創によるまちづくりの推進を図ります。

【内容】
　市内の中学生を対象とした「まちづくりシミュレーション体験会」、市内の小中学校の安全教育主任を対象とした「防災ワークショップ」を開催します。

【影響・効果】
■まちづくりシミュレーション体験会
　３Ｄ都市モデルを活用したシミュレーション体験を通して、本市まちづくりへの関心を育み、デジタル人材の育成を推進します。
■防災ワークショップ
　学区内の浸水リスクの把握や適切な避難誘導方策など、防災意識の向上を図るとともに、防災教育に繋げていきます。

2 特徴やPRポイント

■まちづくりシミュレーション体験会
　これまで開発してきた「都市計画シミュレーションプラグイン」をベースに、多世代にとって使いやすいよう改良し、体験会を実施します。
　中学生を対象にすることで、まちづくりやＧＩＳ、デジタル分野に関心を持ってもらうきっかけとしつつ、その後の、本市まちづくりへの参画促進を図ります。
■防災ワークショップ
　３Ｄ都市モデルによる浸水リスクの可視化は、浸水イメージを直感的に把握することが可能です。浸水イメージを共有しながら、生徒の適切な避難誘導方策など意見交換することで、有事に備える防災意識の向上を図ります。

3 その他

「都市計画シミュレーションプラグイン」は、市ホームページに公開することで、３Ｄ都市モデルとＷｅｂＧＩＳの体験機会を創出していきます。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　松村・笛木
連絡先　℡0493-39-4813（直通）　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
プロスポーツチーム等連携事業

1 事業概要

【目的】
本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等と連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや応援機運醸成等を図ることで、スポーツによる新たな交流や賑わいの創出を図ります。

【内容】
チームが実施する市民・転入者向け観戦優待の支援、スタジアム周辺等においてチームと連携した広報物によるシティドレッシングを継続して実施するほか、令和８年度は各チームをモチーフにしたマンホール蓋を作製し、ラグビーロードや各チーム関連施設周辺に設置します。

【効果】
市民のチームに対する愛着の醸成やファン層の拡大を図るほか、市外から訪れる来訪者に対し、チーム及びスポーツタウン熊谷のＰＲ効果が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

◇ デザインプレートマンホールの設置は、本市初の試みとなります。
◇ ラグビーロード歩道上にデザインプレートマンホールを設置することで、熊谷駅から熊谷ラグビー場間を徒歩で移動する試合観戦者等へＰＲを行います。
◇ 熊谷では年間を通してプロスポーツの試合が開催されています。
・リーグワン：１２月から５月頃まで　・ＢＣリーグ：４月から９月頃まで
・ＷＥリーグ：９月から５月頃まで

3 その他

【本市を拠点に活動しているスポーツチーム】
・「埼玉パナソニックワイルドナイツ」・「アルカス熊谷」（ラグビー）
・「埼玉武蔵ヒートベアーズ」　（野球）
・「ちふれＡＳエルフェン埼玉」（サッカー）

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部ｽﾎﾟｰﾂﾀｳﾝ推進課　担当　楠原
上下水道部下水道課　担当　鈴木
連絡先　℡048-524-1111　内線　349（ｽﾎﾟｰﾂﾀｳﾝ推進課）
内線　561（下水道課）

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
荻野吟子知名度向上事業

1 事業概要

【目的】
埼玉県ゆかりの三偉人でもある郷土の偉人「荻野吟子」の功績を顕彰し、熊谷市が誇る魅力の１つとして情報発信を強化するとともに、郷土愛の醸成、地域経済の持続的発展、活性化を図り、ＮＨＫ朝の連続テレビ小説（朝ドラ）化を目指します。

【内容】
令和７年度に組織する「（仮）日本で最初の公許女性医師「荻野吟子」顕彰推進協議会」を核とし、吟子ゆかりの自治体、団体への協力要請、パネル展、シンポジウムを開催します。

【効果】
「荻野吟子」の顕彰、情報発信を強化することで熊谷市のイメージアップとともに、郷土愛が醸成され、ゆかりある自治体や団体と連携することで関係人口や観光誘客が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

我が国初の公許女性医師という唯一無二の魅力を持つ「荻野吟子」の存在は、本市のストロングポイントです。かつて小説「花埋み」（著：渡辺淳一）や舞台「命燃えて」（主演：三田佳子）で脚光を浴びましたが、近年、大きく扱われることはそう多くありません。そこで女性初の内閣総理大臣誕生というタイミングが重なった今、「荻野吟子」の存在や生き方を広く世に知らしめるため、力強いメッセージを発信し、共感の輪を広げます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　**無**　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　青木
連絡先　℡048-524-1111　　内線　309

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
アニメコラボレーション実施事業

1 事業概要

【目的】
　世界的に人気の高い作品（キャラクター）とのコラボレーションイベントを熊谷うちわ祭の期間に合わせて実施することにより、インバウンドを含めた観光客の誘致を促し、来熊者の熊谷市及び熊谷うちわ祭に関する情報発信による認知度向上及び観光消費の増大を目指します。

【内容】
・熊谷駅周辺の周遊を促すために、スタンプラリーを設置
・イラスト等のアート展示
・グッズ販売
・ＦＭクマガヤとコラボし、特別番組を放送
・秩父鉄道とコラボし、ＳＬのオリジナルヘッドマークの掲出

【効果】
　聖地巡礼などによる観光消費（宿泊、飲食、交通、イベント参加）の増大が見込まれるとともに来熊者（ファン）の発信力を活かした熊谷市、熊谷うちわ祭等の認知度向上や郷土愛の醸成が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

　コラボする相手方は世界的に認知度の高いキャラクターで調整を進めていますが、公表できる状況ではありません。情報が解禁できるタイミングになりましたら改めてお知らせいたします。

3 その他

事業実施は（一社）熊谷市観光協会が行います。

※ 資料の有無（　有　・　**無**　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　佐藤
連絡先　℡048-524-1111　　内線　508

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
九都県市合同防災訓練実施事業

1 事業概要

【目的】
首都直下地震等の大規模災害時における連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人一人の防災知識や減災への備えの向上を目指します。
【内容】
九都県市合同防災訓練を埼玉県と共同で実施します。
訓練概要は以下のとおりです。
・日時：令和８年８月２９日(土)　９時から１１時４５分まで
　　防災フェアは１２時３０分まで
・会場：熊谷スポーツ文化公園　熊谷市上川上３００
・訓練内容（案）は以下のとおり
⑴機関系訓練：航空機等による情報収集訓練、住民による避難誘導・初期消火訓練、応急救護所開設・運営訓練、中高層建物救出訓練、孤立者救出訓練、ライフライン復旧訓練、救助犬による捜索活動訓練、倒壊建物多数傷病者救出救護訓練、火災防ぎょ訓練等
⑵防災フェア：防災関係車両の展示と搭乗体験、訓練体験ブース（煙体験、ＡＥＤ取扱訓練、ロープ結索訓練等）、防災関係事業者によるＰＲブース、避難所関係ブース、自衛隊カレーの炊出し等

2 特徴やPRポイント

九都県市合同防災訓練は、埼玉県を含む九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）において、相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民の防災知識の向上や減災への備えの取組強化を目指し、毎年実施しているものです。
令和８年度の埼玉県会場では、県内全市を１巡した後、２巡目最初の会場として本市で開催するものであり、３４年ぶりの実施となります。
機関系訓練では、自治体、消防、警察、自衛隊などの関係機関が参加し、大規模災害発生時の指揮命令系統や情報共有、応援・受援体制について、実災害に即した対応力の向上を図ります。
防災フェアでは、災害の危険性や備え等について、体験や展示により紹介します。子供から大人まで幅広い世代が防災を学べる機会とし、防災を「自分ごと」として考えるきっかけ作りを目的としています。

3 その他

⑴主催：埼玉県、熊谷市　　後援：内閣府
⑵実動訓練統括：熊谷市消防本部
⑶参加機関：消防、警察、自衛隊、九都県市、防災関係機関、災害時応援協定機関、医療機関、自主防災組織ほか

※ 資料の有無（　(有)　・　無　）

担当者　市長公室　危機管理課　　担当　清水
連絡先　℡524-1111　　内線　333

会場全体図（案）


来賓駐車場
P5
P6
P6
P7
東第2
多目的広場
東第1
多目的広場
屋内展示・体験
※体育館
受援会場
訓練会場
航空系訓練
※離着陸あり
彩の国
くまがやドーム
航空系訓練
※離着陸なし
補助
陸上競技場
避難所見学
※多目的運動場
自衛隊カレー
屋外体験
車両展示
陸上競技場
キッチンカー

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
任意接種費用助成事業

１ 事業概要

【目的】
任意予防接種の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市民の健康を支援します。
【内容・経緯】
対象となる任意予防接種は次のとおりです。

①大人の風しん予防支援事業
妊娠を希望している女性とその同居者、又は妊婦の同居者を対象に、風しん（麻しん風しん混合を含む）予防接種費用の一部を助成します。（平成２６年度から実施）

②造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助事業
造血幹細胞移植によって、定期の予防接種で獲得した免疫が低下若しくは消失したため、再接種が必要と医師が認めた者に対して再接種に係る費用を助成します。（令和４年度から実施）

③男子へのＨＰＶワクチン接種費用助成事業
小学６年生から高校１年生相当の男子を対象とし、ＨＰＶワクチン接種完了（３回または２回）まで、市で定めた接種費用を上限に助成します。令和８年度より新たに９価ＨＰＶワクチンが助成対象となります。（令和５年９月から実施）

④帯状疱疹予防接種費用助成事業
重症化や重い後遺症を引き起こす恐れのある帯状疱疹の発症を抑制するため、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。（令和５年９月から実施）

【効果】
市民の健康保持増進に寄与するとともに経済的負担を軽減し、疾病及び感染症のまん延を防止します。

２ 特徴やPRポイント

【特徴】
・男子へのＨＰＶワクチン接種費用の助成は、埼玉県内では初めて実施しました。
・市は、中学１年生を対象として行っている「生命の授業」において、男女ともにＨＰＶワクチン接種をすることによるＨＰＶの感染予防及びがん予防について啓発を行っています。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市民部健康づくり課（事業④）
市民部健康づくり課母子健康センター（事業①～③）
担当　田辺
五十嵐
連絡先　健康づくり課　048-528-0601（直通）
健康づくり課母子健康センター　048-525-2722（直通）

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
歯科保健事業

１ 事業概要

【目的】
　定期的な歯科検診の機会を提供し、生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康の保持・増進を支援します。

【内容】
　歯周疾患予防のため４０歳以降の節目年齢に加えて令和５年度から２０歳を、令和６年度から３０歳を対象として実施している歯科検診について、令和８年度から新たに２５歳、３５歳を対象に加えます。

【効果】
・歯周疾患の早期発見、早期治療をすることができます。
・早期に歯周病を発見し治療することにより、全身の健康維持につながります。
・口腔の状態が悪化する前に適切な指導が受けられ、かかりつけ歯科医を持つきっかけになります。

２ 特徴やPRポイント

　２０代･３０代の方は歯科検診を受ける機会がなく、こども医療費の助成もなくなり受診控えをする年代でもあります。歯科検診を受けられる４０歳になったときには口腔の状況が悪化している方が多い状況です。
　多くの方が高校を卒業してから受診する機会のない歯科検診の対象者について、令和５年度から開始した２０歳、令和６年度から開始した３０歳を対象とした歯科検診に、令和８年度からは２５歳と３５歳を加えて、２０歳から８０歳までの５歳間隔で生涯を通じた歯科検診の機会を提供できます。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部　熊谷保健センター　　担当　杉山、権田
連絡先　℡　048-526-5737　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
不妊治療費等助成事業

1 事業概要

【目的】
特定不妊治療を受けている夫婦に対して、治療費に対する助成だけでなく交通費の一部も助成することにより、経済的負担の軽減を図り、不妊治療を受けやすい環境を整備します。

【内容】
特定不妊治療に係る医療機関までの交通費について、その費用の一部を助成します。
埼玉県外医療機関：１万円（隣接市の医療機関は除く）、埼玉県内医療機関：５千円（熊谷市内の医療機関は除く）、隣接市医療機関：２千円を１年度につき１回限り助成する。

【効果】
特定不妊治療費以外に係る経済的負担を軽減することで、不妊に悩む方々が安心して治療に専念できる環境を整えます。

2 特徴やPRポイント

不妊治療費に係る交通費助成は本市独自の事業であり、埼玉県内でも初めてとなります。
また、現在不妊治療の助成を受けている方の約７割が埼玉県外の医療機関に通院しているため、経済的な負担軽減が図られるとともに、より一層少子化対策を推進することができると期待されます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課　　担当　塩澤
連絡先　℡　048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
全国健康福祉祭開催事業（ねんりんピック）

１ 事業概要

【目的】
　６０歳以上の高齢者を中心とするスポーツや文化等の祭典である「ねんりんピック 」を通じて、高齢者の健康増進や社会参加、生きがいづくりを推進します。
【内容】
　熊谷市実行委員会（会長　熊谷市長）に負担金を交付します。
【影響】
　全国からの２競技の選手団（ソフトテニス（約６２０人）、ラグビーフットボール（約８００人））の受入れや、競技大会の運営と併せて、選手等へ各種おもてなしや、「健康づくり教室」（健康啓発等のブース）等を滞りなく準備し、大会運営を行います。
【効果】
　全国からの選手や役員等へ、本市のおもてなしを通して、本市ＰＲの絶好の機会となります。

２ 特徴やPRポイント

　本年、１１月７日（土）～１０日（火）を期間として、「第３８回全国健康福祉祭埼玉大会ねんりんピック彩の国さいたま2026」が開催されます。
　本市では、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において、皇室の宮様が御臨席を予定している「総合開会式」（県主催）と、ラグビーフットボール、ソフトテニスの２競技が開催されます。
　全国から県内に延べ約６０万人の選手・関係者が訪れ、総合開会式には、約１万５千人のお客様が、熊谷市に来訪される見込みです。

３ その他

令和６年度　第36回全国健康福祉祭ねんりんピックはばたけ鳥取2024（2024.10/19～22）
令和７年度　第37回全国健康福祉祭ねんりんピック岐阜2025（2025.10/18～21）
令和９年度　開催地が決まらず、開催見送り。
令和10年度　第39回全国健康福祉祭（東京都にて開催予定）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　福祉部長寿いきがい課　　担当　江田、君塚
連絡先　℡048-524-1111　　内線　208・239

令和8年11月 スポーツ・文化競技30種目を県内24市町で開催します!

第38回全国健康福祉祭埼玉大会

ねんりんピック 彩の国さいたま2026

咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国

令和8年11月7日(土)～10日(火)



ねんりんピック
彩の国さいたま2026

特設ホームページは
こちら

「ねんりんピック」とは

60歳以上の方々をはじめとするスポーツと文化種目の交流大会をはじめ、式典、音楽文化祭などの文化イベントや、健康福祉機器展、健康づくり教室など、あらゆる世代の人たちが楽しめる様々なイベントを開催します! **是非ご参加ください!**

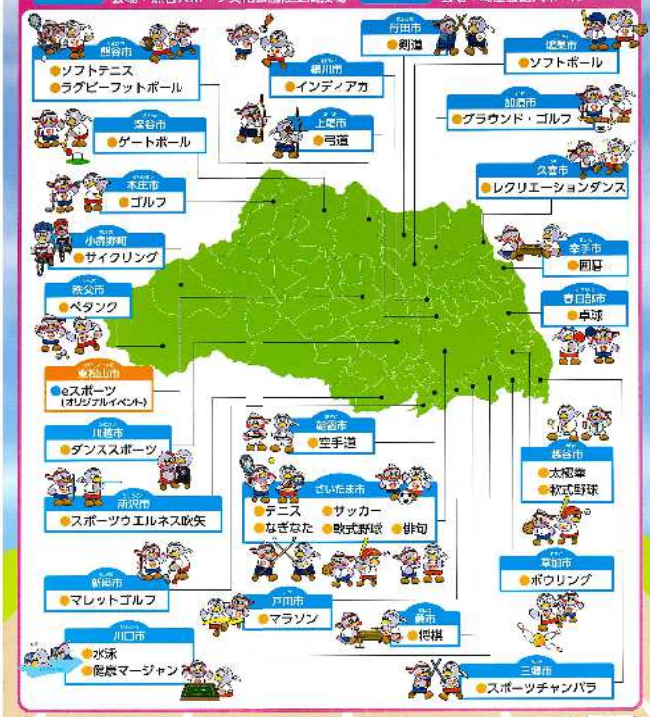
【お問合せ】ねんりんピック彩の国さいたま2026実行委員会事務局
(埼玉県 福祉部 ねんりんピック推進課内)
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-3220 FAX 048-830-4702 ✉ nenrin@pref.saitama.lg.jp

[主催] 埼玉県・さいたま市・厚生労働省・一般財団法人長寿社会開発センター [共催] スポーツ庁

開催種目及び会場地一覧

総合競会式 日程：令和8年11月7日(土) 会場：熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

総合閉会式 日程：令和8年11月10日(火) 会場：埼玉会館大ホール



総合開・閉会式、交流大会をはじめ、県内で多彩なイベントを開催します。
各イベント詳細については特設HPをご覧ください!

健康関連イベント
- 健康づくり教室(交流大会の各会場)
- ふれあいニュースポーツ(さいたま市)
- 健康フェア(さいたま市)

福祉・生きがい関連イベント
- 美術展(さいたま市)
- 地域文化伝承館(さいたま市)
- 音楽文化祭(所沢市)

健康、福祉・生きがい共通イベント
- シンポジウム(講演会)(鴻巣市)
- 展示・相談コーナー(さいたま市)
- ふれあい広場(熊谷市・さいたま市)

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

１ 事業概要

【目的】
　子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て世帯に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化します。
【内容】
　保護者の就労要件を問わずに保育所等を柔軟に利用できる新たな通園支援事業で、子ども１人当たり月１０時間まで利用できる事業です。
【対象者】
　保育所等に通っていない０歳６か月から２歳までの子ども
【保護者負担】
　国においては子ども１人１時間当たり３００円程度が標準とされていますが、本市においては半額の１５０円程度で利用できます。
　※利用料は各保育所等が設定します。
【開始時期】
　令和８年４月１日
【効果】
　家庭だけでは得られない様々な経験を通じて、健やかな子どもの育ちを支援します。

２ 特徴やPRポイント

・誰もが子育てしやすい環境を整備するため、市単独事業として、保護者負担額を半額とします。（１人１時間当たり３００円の半額を市が負担します。）
【県内初の取組】

・市内民間保育園等の２１施設で令和８年４月から実施予定

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部保育課　　担当　宮沢
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　535

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
省エネ家電普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市民に対して省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進するため、対象機器の導入について支援します。

【内容】
熊谷市内の店舗で省エネ性能の多段階評価点が☆3.0以上の省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、冷凍庫）を購入した方に、地域電子マネー「クマPAY」で１万円の補助金を支給します。

【効果】
機器の購入を市内店舗・事業者に限ることで、熊谷市の地域経済の活性化につなげます。また、省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進します。

2 特徴やPRポイント

【省エネエアコン】
約20年前のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量197kWh削減、年間電気代6,100円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量85kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.6本分になります。

【省エネ冷蔵庫】
約20年前の冷蔵庫（451～500リットル）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.6、451～500リットル）へ入れ替えた場合、年間消費電力量423kWh削減、年間電気代13,110円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量182kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると20.6本分になります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　209

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
暑さ対策スマートパッケージ事業

1 事業概要

【目的】
「暑さ対策」に「デジタル技術」をかけ合わせ、市民や来訪者が夏の暑さの中でも快適に過ごせる機能をパッケージ化したサービスです。市民や来訪者が夏の暑さの中でも快適に過ごせるよう、暑い場所の回避や涼しい場所への誘導を目的としたコンテンツを、都市ポータルアプリ「クマぶら」で発信します。
【内容】
①「まちなかヒートエリア」　まちなか(注１)の温熱環境をシミュレートし、可視化した画像(注２)により、まちなかの相対的な暑さの予測分布(注３)を確認できます。
②「クールシェアスポットマップ」　クールシェア期間（6/1-9/30）に市内で設置される、暑さをしのぐための休憩スポット「クールシェアスポット」を地図上で確認できます。
③今後の展開　令和８年度には、市内各エリアに設置した小型気象計により取得した気象情報を配信する予定です。
【効果】市民・来訪者が相対的に「暑い場所」と「涼しい場所」を把握し、クールシェアスポットを適切に利用することで、暑さ対策を講じながら安全にまちなかを回遊することができます。

2 特徴やPRポイント

⑴　暑さの「見える化」による回避行動の促進 クールシェアスポットマップ内の道路上に温熱環境シミュレーション画像を重ねて表示することで、経路上の相対的な暑さを直感的に確認できます。
⑵　「暑い場所での休憩」にインセンティブ（ボーナス）を付与 温熱環境シミュレーション範囲内にある一部のクールシェアスポットでは、掲示されている二次元コードを「クマぶら」で読み取ることで、コミュニティポイント「クマポ」を獲得できます。
・アイコンの色分け： マップ上のスポットアイコンの枠は、その場所のシミュレーション上の暑さに応じて３色（緑・黄・赤）に着色されています。
※緑（相対的に涼しい）→ 黄 → 赤（相対的に暑い）の順で設定。
・ボーナスポイント： アイコンの枠色が「黄」「赤」のスポットは、相対的に暑いエリアに位置しているため、積極的な休憩を促す目的で、「ボーナスクマポ」も付与します。

3 その他

(注１)…まちなかとは、熊谷駅周辺の約２㎞四方の範囲を指します。
(注２)…シミュレーション画像は、熊谷市の３Ｄ都市モデル、過去の気象データ、まちなかに設置している気象観測機器の測定値などを基に、シミュレーションソフトで計算されたＷＢＧＴの推測値を高低により色分けしたものです。
(注３)…相対的な分布であるため、青色や緑色のエリアであっても必ずしも涼しいわけではありません。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　村上　宗樹
連絡先　℡048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
アライグマ・ハクビシン防除事業

1 事業概要

【目的】
アライグマ及びハクビシンの生息域拡大による家屋への侵入被害を防止し、市民の健康と安全の確保を目的としています。

【内容】
アライグマ又はハクビシンの被害を受け、自ら対策を行うことが困難なために外注による防除施工を行った方に対し、要した経費の２分の１、上限額５万円を補助します。
令和８年度からは、市内の空き家を所有する方（市外在住者を含む）についても対象とします。

【影響】
高額な防除費用の負担軽減に加え、有料の見積費用も補助対象とすることで複数見積による金額比較を促し、適正な価格での施工が可能になります。

【効果】
専門的な防除の促進により、被害の再発や空き家等の繁殖拠点化を抑制することで、近隣への被害拡大の防止につなげます。

2 特徴やPRポイント

熊谷市では害獣対策として、市民からの相談に応じて箱わなの設置による捕獲駆除を行っています。また令和７年度からは、アライグマ・ハクビシンに対する防除を行った市民に対し、補助金の交付を開始しました。
令和８年度から新たに補助金対象者を拡大することで、市民の方がより安心し、健康に生活できるような環境づくりに寄与します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　神山
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　207

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷ブランド「晴れまち」認定品開発促進事業

１ 事業概要

【目的】
　事業者の商品開発等を促しながら、魅力ある熊谷ブランド「晴れまち」認定品の製作を支援し、本市の魅力を効果的に発信するとともに、商品開発を通じた事業者間の協業を促進します。

【内容】
　熊谷ブランド「晴れまち」の認定を目標とした新たな製品開発や既存製品を改良する取組に係る経費の一部を補助します。また、ブランド認定に向けた伴走支援を行います。

・補助対象：原材料、マーケティングやパッケージデザインに要する経費等
・補助金額：対象経費の２分の１以内とし、３０万円を限度
・加算：①協業加算（２者以上参画する事業のとき）
　　上記限度額に２０万円を加算
　②晴れまち加算（晴れまち指定品又は認定品を原材料に使用するとき）
　　上記限度額に２０万円を加算

２ 特徴やPRポイント

　熊谷ブランド「晴れまち」認証制度による市産品の価値向上や販路拡大に寄与します。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　金井
連絡先　℡048-524-1111　　内線　309

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
農産物ブランド化推進事業

1 事業概要

【目的】
熊谷ブランド「晴れまち」認定品による市産品の更なる価値向上に向け、市内外に発信することにより「熊谷市の魅力」を広く周知し、農業だけではなく商業、工業も含めたブランド事業を展開します。
【内容】
認定品募集を令和８年度も実施するほか、ブランド事業を多面的に展開することにより広く周知を図ります。
①付加価値の創造
収穫体験、レストランイベントなど熊谷の魅力の再発見のほか、生産者や事業者のマッチング事業を行います。
②ブランドプロモーションの展開
市報や専用サイトにおいてブランドに特化した情報発信を行うほか、全国特産品の展示イベント等の活用や、ふるさと納税返礼品との関連性を高めるなどしながら、消費者にＰＲを行います。
③公民連携によるブランド事業の推進
関係機関と熊谷ブランド「晴れまち」の推進を目的とした協議会による公民連携でのブランド事業の推進体制を進めます。
【期待される効果】
市産品の価値向上／新たな魅力創造／産業全体の活性化／地産地消／生産者・事業者間の循環創出

2 特徴やPRポイント

・「晴れまちクルー」を募集しています。「晴れまちクルー」とは、熊谷ブランド「晴れまち」の専用サイトから登録した市内の生産者、飲食店、その他の事業者で熊谷の産業を一緒に盛り上げる仲間です。
・熊谷ブランド「晴れまち」認定品にはロゴマークを付けて発信することにより「熊谷ブランド」として広く明確に発信することができます。
・市内の生産を守るため、市が指定する「指定品」には、「ＦＡＲＭ」「ＧＩＦＴ」「ＰＲＯＤＵＣＴ」それぞれのロゴマークを付けてＰＲします。

3 その他

令和８年認定品募集については、市ホームページ等でお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　原田・夏目
連絡先　048-588-9987(直通)　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
元気な農業支援事業

1 事業概要

【目的】
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の維持、確保とともに、農産物の安定供給を図るため、農業者が新たに購入する農業機械の費用の一部を補助します。

【内容】
農業者の農業機械導入に係る経費の一部を補助します。
認定農業者は3/10以内、認定新規就農者は5/10以内、いずれも限度額２０万円です。
認定農業者以外の農産物販売額年額５０万円以上の農業者は3/10以内、限度額１０万円です。

【効果】
農業者の作業効率化・軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】
１０，０００千円

【補助条件等】
・購入する農業機械について、国、県及び市の補助を受けていないこと。
・市税に滞納がないこと。
・令和８年度に購入する農業機械であること。
・農業以外への使途が可能な、冷蔵庫、トラック、バックフォー、フォークリフト等の汎用的な機械は対象外。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
認定農業者、認定新規就農者、それ以外の小規模農業者へも支援を行い、広く農業者を支援します。

【ＰＲポイント】
・令和５年度～令和７年度の３年間の有期事業を継続して、令和８年度～令和１０年度の３年間の予定で実施する市単独補助事業です。但し、補助金交付は、令和８年度以後１回のみです。

3 その他

申請書類、受付期間等は、認定農業者・認定新規就農者へは直接お知らせするほか、市ホームページやくまがや農委だより等で広くお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　田口
連絡先　048-588-9987(直通)　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
企業誘致セミナー事業

1 事業概要

【目的】
　中心市街地のオフィスに企業を誘致します。

【内容】
　中心市街地のオフィス需要を喚起するため、本市の特性や本市に進出することのメリット等をPRするセミナーを東京都内などで開催します。

【経過】
　本事業に先行して、令和７年９月に大規模災害等へのリスク対策、ＢＣＰの観点から「熊谷市企業誘致セミナー」を開催し、３１社３９名が参加しました。

【効果】
　オフィス需要を喚起するとともに中心市街地への投資の促進や昼間人口の増加、飲食業や小売業などの需要への波及効果を生み出します。

2 特徴やPRポイント

　「企業誘致セミナー」は、本市の特性・優位性、第二拠点のメリット等をＰＲするセミナーを東京都内などで開催し、新たなオフィス需要の喚起に繋げていくものです。
　本事業に先行して実施した令和７年９月のセミナーでは大規模災害等へのリスク対策、ＢＣＰ対策の観点からセミナーを開催しましたが、時代に即したテーマ・題材を基に本市の特性や優位性を伝えるセミナーを開催します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　曽根・岡本
連絡先　℡　048-524-1470（直通）　　内線　468

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
池上地区「道の駅」整備事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」を整備し、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。
【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、“食”を通じたおもてなしにより来場者へ熊谷の魅力を伝えるとともに、未来の地域・社会の担い手である“子ども”を掛け合わせることにより「食×子ども」を設計コンセプトとした道の駅を整備します。
令和８年度は、建設工事及び外周道路工事に関する費用等を計上します。
【効果】
農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

・季節や天候に左右されることなく安心して子どもを遊ばせることができる、大型遊具を備えた屋内遊び場や新鮮な地元野菜や物産品などを購入できる農水産物直売所、フードコートを整備します。
・熊谷の食材を使用した新たな物産品の製造や販売を行います。
・熊谷市初のＰＦＩ事業により設計から運営までを一括して行うことことで、民間のノウハウを十分に活用することができ、コストの縮減、質の高い経営などが可能となります。

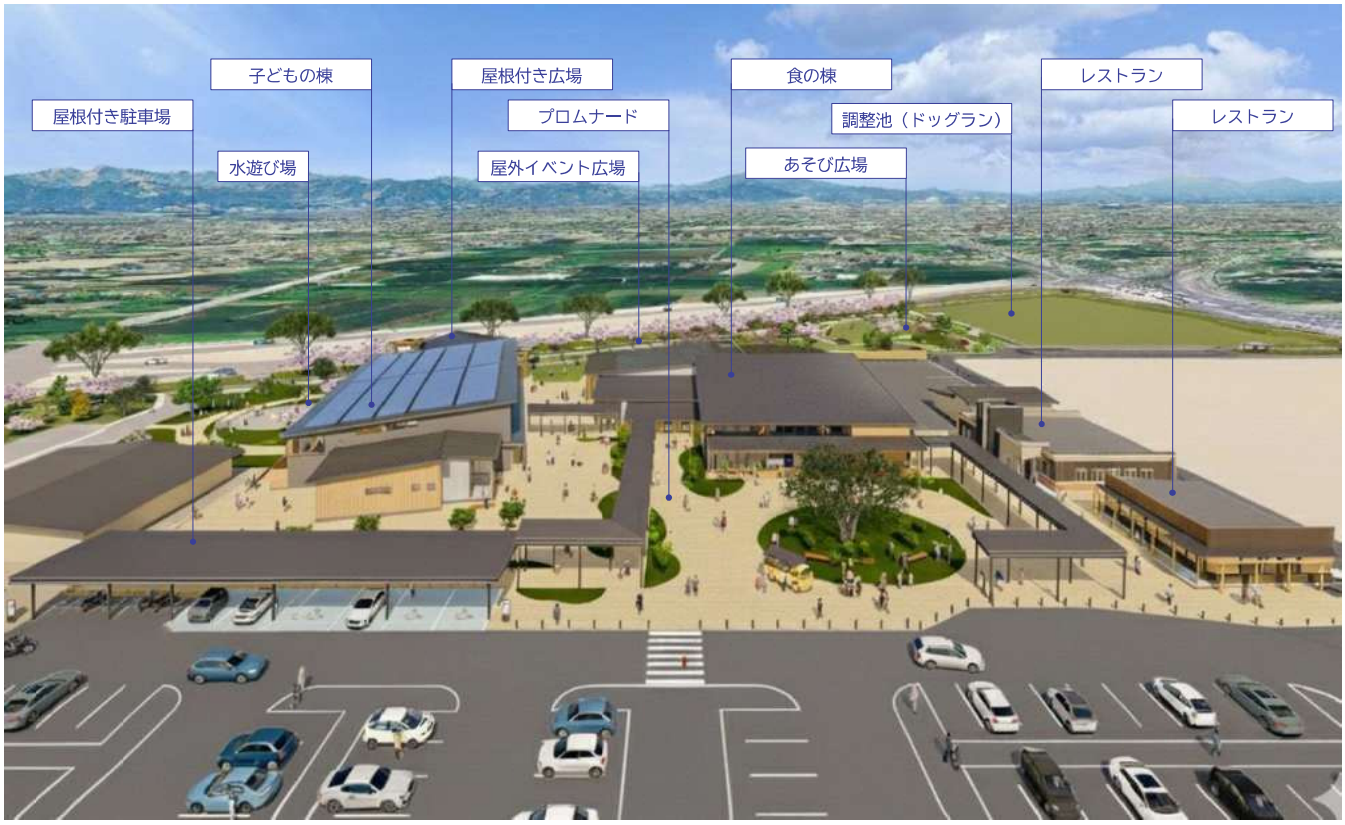
3 その他

道の駅の開業は、令和１０年３月を予定しています。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部道の駅整備室　　担当　佐久間
連絡先　℡048-580-4622（直通）　　内線　532

道の駅　施設概要



※画像はイメージであり今後変更の可能性があります。

道の駅　施設概要

子どもの棟 / 屋根付き広場





屋内遊び場

暑い日や雨の日でも天気を気にせずに遊べる屋内遊び場です。
ふわふわドームで飛び跳ねたり、木製の大型遊具を上り下りするなど、大小様々な遊具で遊ぶことができます。

年齢や個性、スキルに合わせた遊具により、誰もが安全に楽しめる遊び空間です。





屋根付き広場

屋内遊び場からつながる屋根付き広場では、屋内の子どもの様子を見守ったり、広場で開催される様々なイベントを楽しむことができます。

食の棟





農水産物等直売所・加工品販売所

市内で生産された農産物や熊谷銘菓、地酒など様々な商品が並ぶ直売所です。
ライブキッチンでは市内産小麦粉や鶏卵を使用したスイーツが目の前で製造され、作り立てを購入することができます。



フードコート

４種の店舗で地元食材を使用したメニューを提供します。
インテリアの異なる複数のエリアを設け、利用者のライフスタイルに応じた雰囲気で食事を楽しむことができます。

※画像はイメージであり今後変更の可能性があります。

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業

１ 事業概要

【目的】
企業誘致及び市内企業の事業拡大の促進を目的として、企業の立地先となる産業団地整備計画の検討に必要となる業務を行います。

【経緯】
令和４年度　熊谷市から埼玉県企業局へ調査依頼
　　埼玉県企業局による予備調査実施
令和５年度　埼玉県企業局による候補地選定調査実施（～令和６年度）
令和６年度　埼玉県企業局との諸調整及び関係機関との協議
令和７年度　埼玉県企業局と整備の実現に向けた合意書取得に関する覚書の締結

【内容】
令和８年度は、産業団地整備の実施に当たり必要となる水源井の移転に向けた設計業務と、埼玉県担当部局との事前協議である都市計画協議の資料作成業務委託を行います。

【効果】
産業団地整備により、次の効果を見込んでいます。
・新たな企業の誘致による地域経済の更なる発展
・雇用機会の維持と創出および本市への転入者の増加
・固定資産税等の税収増加により安定した財政運営の実現

２ 特徴やPRポイント

事業予定地は吉岡工業団地に隣接する樋春地内であり、整備面積は約１８．７ｈａを予定しています。埼玉県企業局との共同事業を予定しており、緊密に連携を取りながら産業団地整備計画の検討を進めてまいります。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　都市整備部産業拠点整備推進室　　担当　新井・増田
連絡先　℡0493-39-4807（直通）　　内線　ー

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
総合交通体系整備促進事業

1 事業概要

【目的】
地域公共交通計画に基づき、利便性の高い公共交通ネットワークの形成・維持を図ります。
【内容】
コミュニティバス（ゆうゆうバス８路線１０系統）及び乗合型AIオンデマンド交通を運行させるほか、公共交通路線維持のため事業者への支援、地域公共交通会議（法定協議会）の開催等を行います。
【経過】
高齢化に伴い、コミュニティバスの定時定路線運行では対応しきれない交通需要が生じてきています。地域公共交通の持続のため、既存路線バス等の支線として、令和８年１月から妻沼地区で乗合型ＡＩオンデマンド交通の運行を開始しました。
【効果】
高齢化や運転士不足といった課題に対し、市民の移動手段の維持・確保を図ります。交通結節点を設け、乗り継ぎによる既存交通網の利用促進も図っていきます。

2 特徴やPRポイント

全国的にバス路線の撤退等が相次ぐ中、交通事業者との調整を図り、既存交通網の維持に努めています。
移動困難者のニーズに応えるとともに、既存路線バスやタクシーとの共存を図り、交通資源の効率的活用と持続可能な地域公共交通の構築を目指します。

3 その他

妻沼地区での運行実績を踏まえ、妻沼以外の地区への乗合型ＡＩオンデマンド交通展開の検証を進めていきます。
コミュニティバスの利用頻度が低いエリアについては、将来的に予約に応じて運行するＡＩオンデマンド交通へ置き換えや、段階的な路線再編を検討していきます。

※ 資料の有無（　有　・（無）　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　小森、今井、樋口
連絡先　℡048-524-1111　　内線　215,529

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
まちなかウォーカブル推進事業

1 事業概要

【目的】
　居心地がよく、訪れたくなるまちづくりを推進するため、公民が連携し賑わいのある歩行者空間の創出を目指します。

【内容】
・星溪園の魅力を見直すことができる社会実験
・星川親水広場をさらに居心地の良い場所へと整備

【効果】
　公民連携によりまちなかに訪れたくなる施策に取り組むことによって、まちづくりの関係人口が増加し、まちなかの魅力向上が図られ、賑わいの再生につながることが見込まれます。

2 特徴やPRポイント

・令和７年度に実施した「星溪園ガーデンカフェ」を令和８年度も実施します。令和８年度はカフェの開催時期を紅葉の時期と合わせるとともに、夜間営業も実施します。庭園ライトアップ等を行うことで新たな星溪園の魅力を引き出します。
・とうろう流しの流し場付近の川床について、より広く多様な形で活用が可能になるよう再整備を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　森田・塚越
連絡先　℡048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷運動公園子供広場整備事業

1 事業概要

【目的】
令和７年度にリニューアルオープンした熊谷運動公園子供広場（じゃぶじゃぶ池）の環境整備を求める声に応えるため、暑い夏でも安全に利用できるよう整備し、更なる賑わいの創出を図ります。

【内容】
子供広場に日よけの設備を設置します。

【影響・効果】
家族で安心して利用できる施設が増えることで、幅広い層の方が利用しやすい環境となり、賑わいが生まれます。
また、これまで熊谷運動公園を利用していなかった方や近隣市町からの利用増加が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

噴水のあるじゃぶじゃぶ池などの水遊び場に、休憩のできる日よけの設備を設けることで、親子で安心して楽しめる空間を創出します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無）　）

担当者　都市整備部公園緑地課　　担当　杉浦
連絡先　℡ 0493-39-4806　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
年代八ツ口線道路改良事業

１ 事業概要

【目的】
　妻沼市街地の東西幹線道路として重要な役割を担う都市計画道路「年代八ツ口線」を整備し、地域間の交流促進と産業の発展を目指します。

【内容】
　国道４０７号から市道妻沼１３６３号線までの未整備区間約８５０ｍを整備します。
・計画幅員：１６ｍ（両側歩道各３．５ｍ含む）
・事業期間：令和８年度～令和１３年度を予定
・令和８年度　物件調査、土地鑑定評価
・令和９年度　用地買収予定
・以降、進捗に応じ工事実施予定

２ 特徴やPRポイント

　県道妻沼羽生線を補完するとともに、熊谷市街地への放射状道路との連携強化が図られます。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部道路課　　担当　吉田
連絡先　℡　048-524-1421　　内線　351

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市道121号線道路改良事業

1 事業概要

【目的】
歩道整備により、歩行者の安全性向上を図ります。

【内容】
令和８年度は、道路詳細設計及び用地測量を行います。
起点：国道１７号自衛隊入口交差点　終点：県道原郷熊谷線新堀（北）交差点
街路築造工　延長230m　幅員16.0m（うち東側8.0mは土地区画整理事業で整備済み）歩道幅員3.0m

【経緯】
この路線のうち東側は、籠原中央第一土地区画整理事業による街路築造が完了しています。引き続き西側の街路築造工事を進めます。

【効果】
児童生徒等の通行者の安全な歩行空間を確保します。

2 特徴やPRポイント

交差する国道１７号、県道新堀尾島線、県道美土里町新堀線と歩道がつながることで、より安全な歩行者動線を形成します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　建設部道路課　　担当　堀
連絡先　TEL 048-524-1421　　内線　350

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
荒川かわまちづくり整備事業

1 事業概要

【目的】
「熊谷市荒川かわまちづくり」計画が、令和７年度に国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録されたことを受け、荒川緑地の再整備を行います。令和８年度は、荒川緑地の再整備に向けた詳細設計や社会実験等を行います。

【内容】
河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を図るため、国と市で連携し、市では、休憩施設・水辺の散策路・自然学習環境整備等を行います。

【効果】
多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間が創出され、荒川の豊かな自然環境を保全・継承します。また、国による護岸等の強化もされるため、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力向上を実現します。

2 特徴やPRポイント

計画地は市の中心に位置し、来訪者の玄関口となる熊谷駅から徒歩５分という利　便性の高い水辺空間で、春のさくら祭や夏の花火大会の会場でもあります。今後、荒川公園及び市民体育館の再整備に伴い、熊谷駅南口エリアとの相乗的な賑わいも期待されることから、河川空間とまちなか空間を一体で考え、安全・安心・快適な地域の発展を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部河川課　　担当　瓜田
連絡先　℡048－524－1111　　内線　355

「熊谷市荒川かわまちづくり」（埼玉県熊谷市）

別紙③-6

対象河川　：　一級河川　荒川水系荒川　【国管理河川】

市町村名　：　埼玉県熊谷市

推進主体　：　熊谷市



1. 概要

熊谷市は、街の中心部を荒川が流れ、当該地区は熊谷駅南口から徒歩5分という利便性の高い水辺空間であり、河川敷は、散策やジョギング等の日常的な市民の憩いの空間として、また、ラグビーやサッカー、野球等のグラウンドとしても活用されています。そして、春のさくら祭や夏の花火大会開催時には観光客等大勢の人で賑わう場所でもあり、今後、市民体育館の改築にともない、相乗的な賑わいも期待されることから、河川空間とまちなか空間を一体で考え、安全・安心・快適な地域の発展を目指しています。

国土交通省では、この取組みに対し、必要となる河川管理施設を整備するほか、河川敷地占用許可準則第22に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省 ： 階段式護岸、側帯、堤防坂路、水辺利用（親水護岸）、自然学習環境 等

熊谷市 ： 休憩施設、荒川緑地再整備、水辺利用（水辺の散策路）、自然学習環境 等

3. ソフト施策の内容

国土交通省 ： 都市・地域再生等利用区域の指定 等

熊谷市：地域防災活動や水辺の安全教育支援、地域交流・健康づくり・イベント活動の充実、環境学習活動の充実 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び安全性に配慮した生活道路の整備、維持管理を行うとともに、排水路整備による水辺空間の改善に取り組みます。

【内容】
・道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
・道路維持経費
生活道路の舗装新設及び舗装や施設の修繕を行います。
・排水路等維持管理経費
老朽化した水路や土水路を三面コンクリート水路に改修します。

【効果】
生活道路の整備や適切な維持管理により利便性の向上を図り、良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により、雨水や生活排水を円滑に排除し環境衛生が保たれます。

2 特徴やPRポイント

・道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
・道路維持経費
積極的に修繕や補修を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
・排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策を講じます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者		建設部　道路課	担当　吉田
		建設部　維持課	担当　中澤
		建設部　河川課	担当　水野
連絡先	（道路課）	TEL　048－524－1111	内線　351
	（維持課）	TEL　048－524－1111	内線　540
	（河川課）	TEL　048－524－1111	内線　355

＜速報＞
令和7年度3月補正予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校校舎大規模改造事業

1 事業概要

【目的】
児童・生徒の教育環境の向上を図ることを目的として、校舎の長寿命化対策を行います。

【内容】
校舎の老朽化対策として、経過年数、劣化度等を勘案し、屋上防水、外壁改修、内部改修等の工事を毎年度計画的に実施しています。
令和８年度に工事を予定していた熊谷西小学校及び佐谷田小学校の校舎について、国から「令和７年度学校施設環境改善交付金」の追加交付決定を受けたことから、令和７年度３月補正予算に前倒しして計上し、令和８年度に繰り越して実施します。
なお、老朽化対策に加え、校舎の長寿命化に必要な躯体の改修等も実施します。

【影響・効果】
学校施設の長寿命化対策により、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

校舎の改修により、学校施設の安全性・快適性が高まり、教育環境も向上します。

3 その他

・令和７年度３月補正予算額　910,000千円

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　　担当　柳澤、角張
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　371

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
防災ノート導入事業

1 事業概要

【目的】
○児童生徒が、「自分の身を自分で守り、助け合うことのできる態度」を身に付けることができるよう防災ノートを導入します。

【内容】
○「防災ノート」（小１～３年用・小４～６年用・中学生用）を作成します。
○市内全ての小・中学校の児童生徒へ配付します。

【効果】
○熊谷市の過去の災害や、これから起こり得る災害について知ることができます。
○災害が発生した時にどのように行動すべきかを学ぶことができます。
○自分の身を自分で守る態度を身に付けることができます。
○助け合うことのできる態度を身に付けることができます。

2 特徴やPRポイント

○世代別３種類の「防災ノート」により、発達段階に応じた防災学習ができます。
○具体的な災害の事例を示します。
○書き込み形式の資料とし、主体的に学ぶことができます。
○熊谷市内の避難場所を掲載します。
○日々の備えについてのページを設け、家庭を巻き込んだ防災教育ができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当者　教育委員会学校教育課　　担当　須賀　普史
連絡先　℡048-524-1111　　内線　315

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「荻野吟子物語」マンガ制作事業

1 事業概要

【目的】
日本初の公許女性医師「荻野吟子」の功績を広く発信するため、その生涯を綴ったマンガ形式のブックレットを制作いたします。
【内容】
荻野吟子についてのエピソードを１０点にまとめ、マンガ及び解説により紹介します。体裁は、Ａ５判、ブックレット形式、オールカラー、４４ページ（予定）です。
【経過】
令和５年度の「直実・蓮生物語」、６年度の「斎藤実盛と妻沼聖天山」、７年度の「根岸友山・武香物語」に次ぐ、郷土の偉人や歴史を紹介するブックレットです。
【効果】
市内の全小中学校の児童・生徒へ配布し、次世代を担う子どもたちやその家族に対し、郷土の偉人である荻野吟子への理解を深め、熊谷市への関心と愛着を醸成します。あわせて一般向けの有償頒布を実施し、市民一人ひとりが郷土の歴史に誇りを持つ機会を創出します。

2 特徴やPRポイント

吟子の名は、ゆかりの深い妻沼地域を中心に浸透しつつありますが、市内外において、いまだ周知に課題があります。また、公許女性医師第１号となるまでの苦難は知られているものの、その後の「女性社会活動家として先頭に立った活躍」や「栄光を捨て北海道へ渡った波乱万丈な後半生」などについては、あまり知られていません。

近代日本を切り拓き、女性や弱者のために尽力した吟子の足跡を、親しみやすいマンガを通じて紹介します。全国に誇るべき本市ゆかりの偉人の存在とその偉業を、より多くの方々に広く発信していきます。

3 その他

荻野吟子知名度向上事業【商業観光課】の一環で開催する、３月に予定されるシンポジウムの際に頒布を予定します。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当者　教育委員会 社会教育課市史編さん室　担当　蛭間　健悟
連絡先　℡048-525-4550　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
妻沼図書館大規模改修事業

1 事業概要

【目的】
平成３（1991）年に建築した妻沼図書館設の老朽化に対処し、今後約３０年間の使用を実現するとともに、バリアフリー化等による快適な利用空間を創出することを目的とします。
【内容】
建築工事（屋上防水改修、内外装改修、天井・床改修等）、電気工事（エレベーター改修、照明のＬＥＤ化等）、設備工事（空調設備・換気設備・給排水配管改修、トイレの洋式化等）により建物の躯体以外の全面リニューアル改修を実施します。
【経緯・経過】
建築から３０年以上経過し、妻沼図書館の施設各部の老朽化への対処やアップデート化の必要性が大きな課題となる中、本市の個別施設計画に基づき、建物の耐久年限と想定する今後約３０年間の使用を図るため、次の手順により施設の大規模改修を行うこととしました。
①令和６年度　基本設計・実施設計の委託
②令和７年度　①の結果に基づく工事予算の積算及び令和８年度予算要求
③令和８年度　工事の実施
【影響・効果】
妻沼図書館利用者への図書館サービスの継続及び快適性・満足度の向上が期待できます。

2 特徴やPRポイント

照明のＬＥＤ化、バリアフリー化及びユニバーサルデザイン等に配慮した本事業の改修により、便利でより快適に利用していただける妻沼図書館へとリニューアルされます。

3 その他

妻沼図書館の休館期間は、令和８年５月から令和９年２月を予定しています。
その間、図書館サービスを継続するため、同敷地内の妻沼展示館において、図書の貸出・返却の業務を継続します。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当者　教育委員会熊谷図書館　　担当　大野　幸人
連絡先　℡ 048-598-4885　　内線

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
展示品レプリカ作製事業

1 事業概要

【目的】
広く市民に熊谷の文化・歴史をＰＲし、郷土への関心を促すとともに、熊谷の歴史を全国発信する素材を作製することを目的とします。

【内容】
郷土熊谷に関連する国宝・国指定重要文化財等について、博物館施設等で展示するための高レベルのレプリカを作製します。
令和８年度製作対象：「埴輪　馬」（馬型埴輪、熊谷市上中条出土、国指定重要文化財）東京国立博物館所蔵

【影響・効果】
熊谷の文化、歴史の再発見とともに市の文化レベルやアイデンティティを高めることができます。また、まちの成り立ちを再認識し、文化財を活用したまちづくりの要素の一つとすることができます。

2 特徴やPRポイント

熊谷市で国指定重要文化財のレプリカの作製は三例目です。（R6「埴輪 短甲の武人」、R7「熊谷家文書」中４点）
教科書にも掲載されている埴輪のレプリカを、熊谷図書館美術・郷土資料展示室の常設展示室で見ることができるようになり、熊谷市の誇りを高めます。
展示室を見学に来る市内在住者だけでなく、市外からの来館者にも、熊谷の誇る文化財について広く周知することができるようになります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　教育委員会熊谷図書館　　担当　熊谷図書館　大井教寛
連絡先　℡　048-525-4551　　内線

名称　　「埴輪　馬」（国指定重要文化財）
寸法　　高さ：87.5 ㎝　幅 101.5 ㎝　奥行 36.5 ㎝　股下 37.2 ㎝
出自　　明治９年に熊谷市の中条古墳群のうち鹿那祇東古墳より出土
年代　　古墳時代　６世紀
所蔵者　　東京国立博物館



出典：ColBase（https://colbase.nich.go.jp/）

＜速報＞
令和8年度当初予算（案）概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
シティプロモーション事業

1 事業概要

【目的】
熊谷市の「歴史・文化」、「産業」、「スポーツ」、「ＤＸ」を特に注力する分野として、地域の魅力を「見つける、創る、磨く」活動や、市内外に情報を発信する活動など、熊谷市の価値やイメージを高める活動を熊谷市のシティプロモーションとして定義し、それらの活動によって、「熊谷市のファンを増やす」ことを目的としています。

【主な内容】
市公式ＳＮＳを活用した情報発信、シティプロモーションロゴ・動画の活用、「クマガヤサポーター」との連携　など

【経緯】
令和５年４月　「シティプロモーションに関すること。」が広報広聴課の分掌事務となる。
令和６年３月　「熊谷市シティプロモーション推進方針」策定。
令和６年度　ロゴ作成。
令和７年度　広報発行事業から独立して予算化。動画作成。

2 特徴やPRポイント

・インフルエンサーとのコラボ
　コラボ動画を市公式インスタグラムで発信します。
・シティプロモーション動画
　シティプロモーション動画を活用して、市外の人に向けて情報発信します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市長公室広報広聴課　　担当　藤村・富田
連絡先　℡ 048-524-1156（直通）　　内線　206

＜速報＞
令和8年度当初予算(案)概要
令和8年2月17日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市民協働「熊谷の力」荻野吟子顕彰事業

1 事業概要

【目的】
日本で最初の公認女性医師となった郷土の偉人「荻野吟子」の功績とその不屈の精神を、市民参加型の演劇開催を通じて次世代へ継承するとともに、女性活躍のまちを推進します。

【内容】
荻野吟子の生涯を描いた演劇を市民参加型で上演します。
・日時　令和８年１１月２３日（月・祝）13時30分開場　14時開演
・場所　熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール
・実施団体　くまがや共同参画を進める会

【効果】
市民が「熊谷の荻野吟子」を再発見する機会となり、郷土愛の醸成や地域文化の発展につながります。また、明治時代の女性の挑戦する姿を知り、歴史から学ぶことで、現代の私たちが直面する女性活躍やジェンダー平等などの課題に対する意識の向上に寄与します。

2 特徴やPRポイント

・令和９年度以降は、舞台装置や脚本を再構成し、市内の小・中学校等での上演やワークショップを行い、次世代への普及啓発を図ります。

3 その他

・くまがや共同参画を進める会　会長　日向美津江
　所在地：熊谷市筑波3-202　ティアラ21　4階
　　熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」内
　連絡先：（事務局）048-599-0011
・演劇は劇団シナトラの協力により行います。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部男女共同参画室　　担当　島原
連絡先　℡　048-599-0011　　内線　なし